

ふくしを担うひと

～地域のボランティアが活躍しています～

生活支援体制整備事業では、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、住民主体の介護予防・生活支援の取り組みを推進しています。地域での助け合い活動を通して人との「つながり」を再構築すること、介護予防に取り組み健康寿命を延ばすことを目的としています。皆さんの力で、高齢になっても安心して暮らせる地域をつくっていきませんか。

こんな活動をしています

小学校区ごとにボランティア団体があり、地域の高齢者の困りごとに合わせた助け合い活動を展開しています。



インタビュー

ふくしを担っていただいている方々、サービスを利用された方にお話を聞いてみました。

この活動をしていて良かったと思う瞬間は『ありがとう』『助かるよ』の声をもらったとき



大嶋 優子さん

生活支援団体「チームつながり」コーディネーター*兼サポーター

活動開始時には想定していなかった相談内容もありますが、メンバーに相談して対応可能なものはお手伝いしています。地域の皆さんに、気兼ねなく『困った』『ちょっと助けて』と言ってもらえる存在になりたいです。

私たちの良さは、住民活動ならではの『柔軟さ』と『迅速さ』



中村 晴信さん

生活支援団体「生活サポートあゆむ」コーディネーター*兼サポーター

家族だけ、地域だけでは支えきれなくても、家族、地域、公的サービス、専門職、それから私たちのような生活支援団体など、それぞれにできることを組み合わせれば、高齢者の『その人らしい暮らし』を支えていくことができると思います。

困っているみなさんのために、そして、地域のために少しでも。



西島 守さん

移動支援団体「やまびこ」コーディネーター*

一人一人が助け合いながら生きていけるような地域の関係性を持つのが理想です。皆さんが笑顔で、買い物だけでなく、コミュニケーションがとれるのが一番かなと思っています。

“みんな”で行く買い物は私の楽しみの一つです。



大原 俊治さん

やまびこ移動支援利用者

家から歩くと大変なので、いつも定期的に連れてきていただけて本当にありがたい！重たいものもこのときに買うようにしています。何より、一人で行く買い物はつまらないけど、みんなで行くといろんな発見があって楽しいです。

※コーディネーター：利用者の依頼を受け、派遣するサポーターの調整をする役割

地域のボランティアは随時募集しています

活動に興味のある方は、12ページに掲載している「地域助け合いフォーラム」にお越しください。

☎ 長寿介護課 989-5537